

瑞穂町 第1回農園活用ワークショップ

開催レポート

開催 概要

みんなで「だんだん畑」の年間計画をつくろう！

リニューアルする瑞穂町多世代交流センターMIZCUL(ミズカル)には、みんなで育てる「だんだん畑」が整備されます。本ワークショップは、「農園を活用した多世代交流の実践」「農園の利活用方法の検討」「農園を運用する持続的な組織づくり」を目的とし、農業について学びながら、「だんだん畑」の持続的な利活用につなげていくことを目指します。

日時 令和6年(2024年)11月23日(土・祝) 13:30～15:30

対象 瑞穂町在住・在勤・在学の方

場所 瑞穂町役場1階ホール

参加人数 19名【3グループ】(他、傍聴者3名)

企画・運営 アカデミック・リソース・ガイド株式会社 / 井上祐輔氏(ゲスト講師)

プログラム

事業の共有・オリエンテーション (10分)



農業を学ぶショートレクチャー (10分)



だんだん畑の計画をつくる〈前半〉企画会議 (30分)



だんだん畑の計画をつくる〈後半〉計画書づくり (15分)



全体で共有・あいさつ (20分)

ワーク ショップ の様子

今回の農園活用ワークショップ〈第 1 回〉では、瑞穂町の農業やおいしい野菜の育て方について学びながら、「だんだん畑」の年間計画をみんなで考えました。

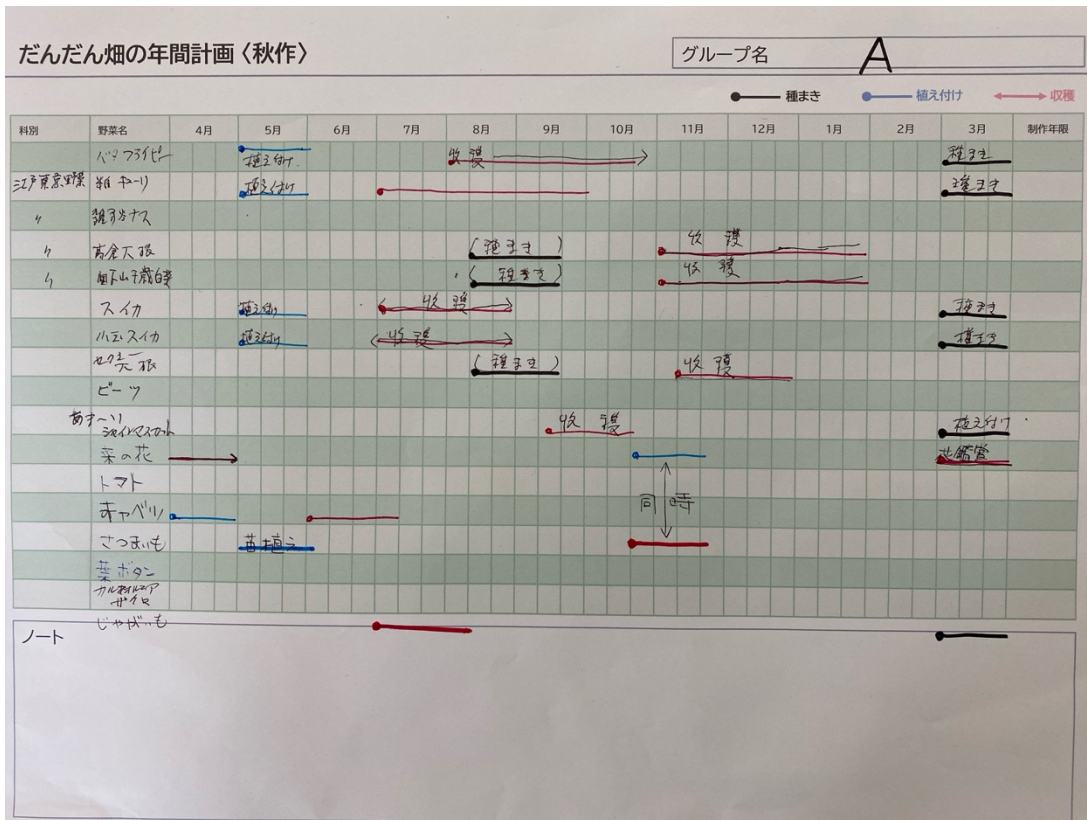
前半では、講師による農作業や畑作り、年間計画の立て方に関するレクチャーを受け、基礎知識を深めました。後半では、参加者が 3 つのグループに分かれ、何を育てるか、どのように畑を活用するかについて意見を出し合い、話し合いを重ねながら、それぞれのグループごとの年間計画を作成しました。

このワークショップを通じて、参加者は瑞穂町の農業の重要性を改めて認識するとともに、農業や食に関する活動が世代を超えた交流のきっかけになることを実感しました。農業という身近なテーマを通じて、多世代の地域住民が共に考え、対話する貴重な時間となりました。

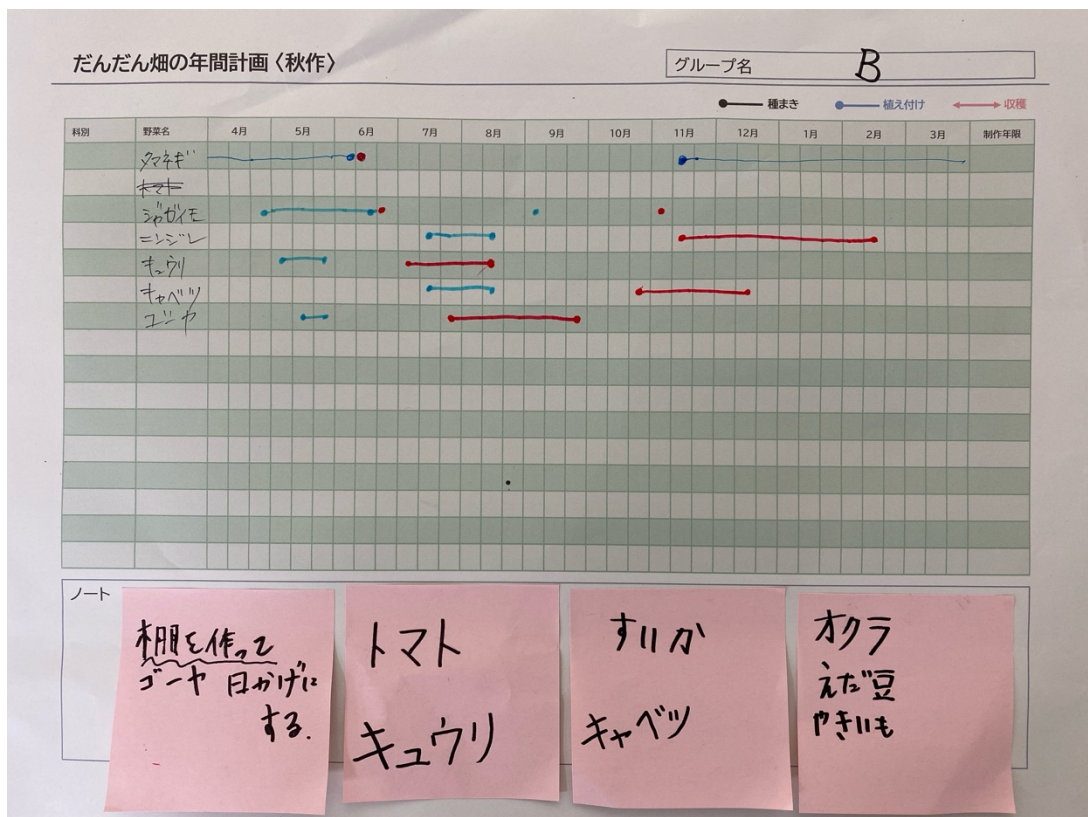
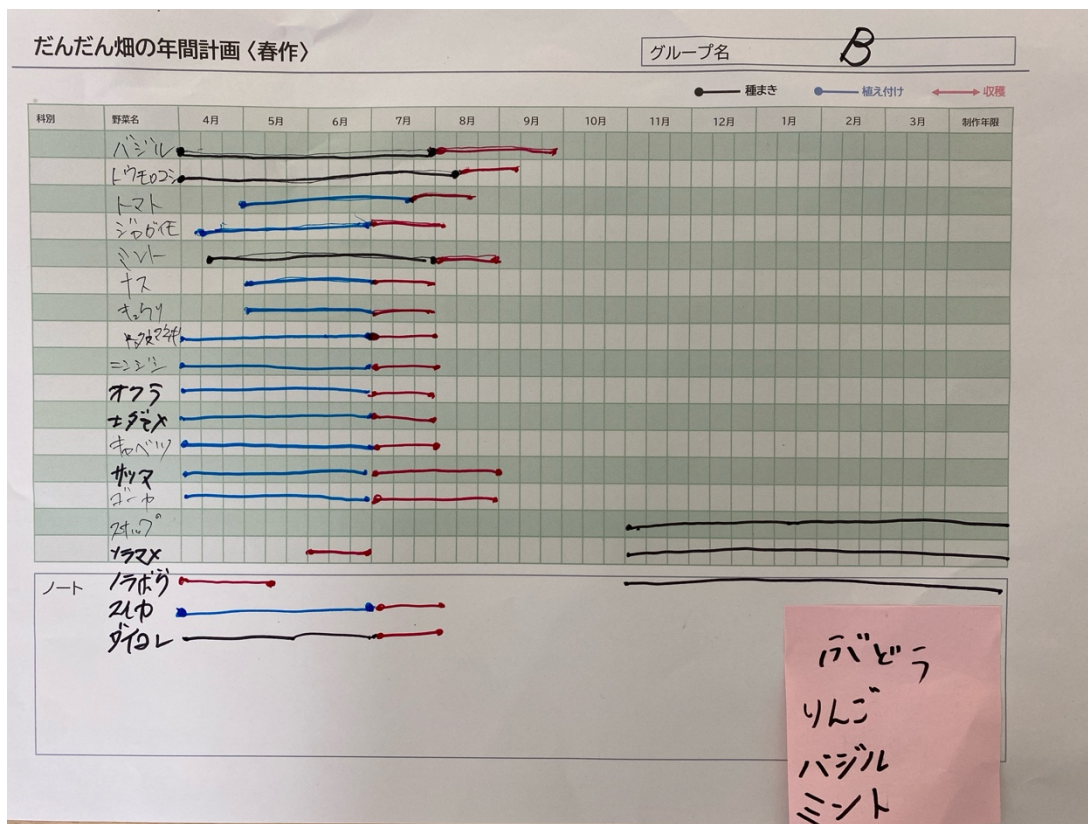




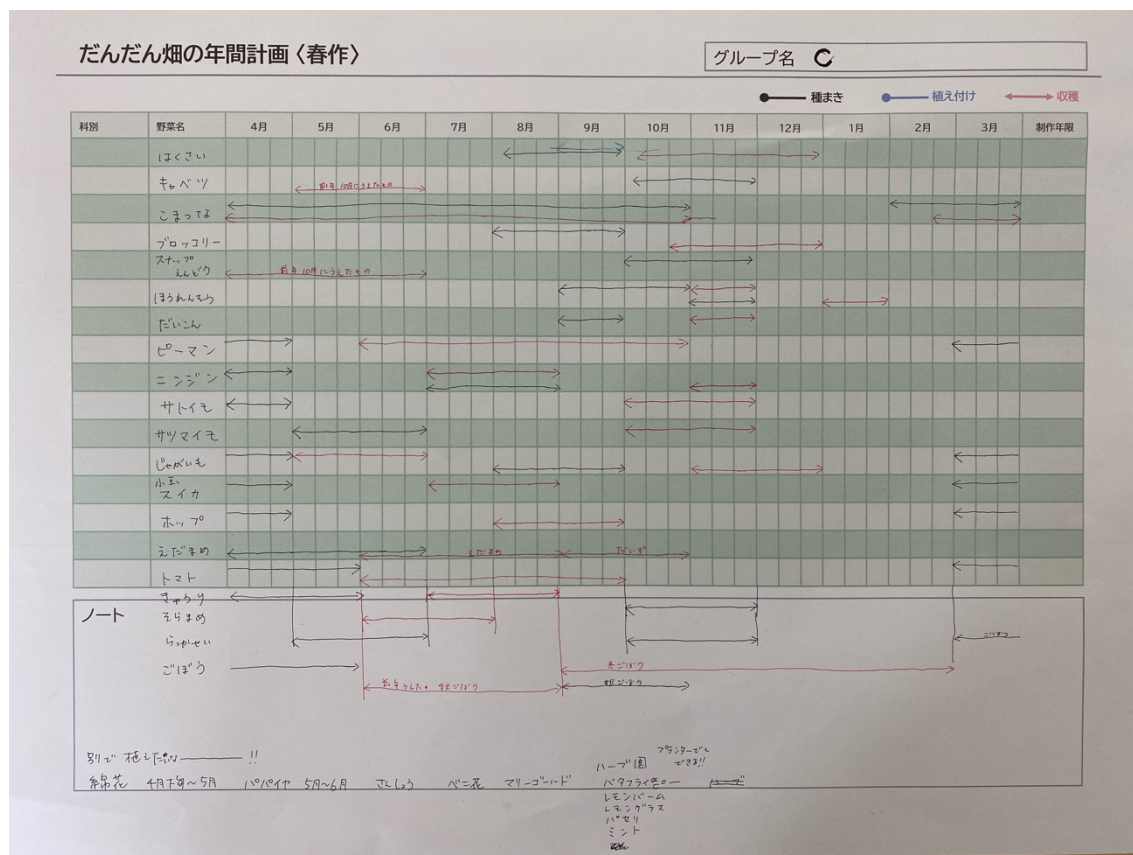
ワークショップの成果物(だんだん畑の年間計画) グループ A



グループ B



グループ C



アンケートの感想(抜粋)

- 子どもの自由な発想が、どんどん実現しそうな感じがした。とても楽しい時間を過ごすることができました！
- 子ども目線での意見を聞いて楽しかったです。
- いろいろな可能性を考えるよいきっかけになりました。ありがとうございます。
- 多世代が集まってよかった。前向きなお話できた。
- ワークショップ自体が多世代交流の場となり有意義でした。
- 講師の方のお話がおもしろかった。アドバイザーの存在は大切です。
- 学校や高齢者施設の方々も参加できるとよいですね。
- 子ども、大人、障がいのあるなし関係なく集まれる場所になってほしいです。
- 農芸高校の参画があるとよい。

令和6年度 瑞穂町 第1回農園利活用ワークショップ



みんなで **だんだん畑** の計画をつくろう！

2024年11月23日(祝) 13:30～15:30

会場：瑞穂町役場 1階ホール

■内容

リニューアルする瑞穂町多世代交流センター「MIZCUL(ミズカル)」には、町のみんなで育てる「だんだん畑」が整備されます。瑞穂町の農業やおいしい野菜の育て方などを学びながら、この「だんだん畑」の年間計画をみんなで考えましょう！

■申込み

瑞穂町 高齢者福祉課

11月13日までに電話または
HPから申込み

- ・ 電話：042-557-7623
- ・ HP：QRコードから読み込み

■ゲスト講師

井上祐輔 氏(東京NEO-FARMERS!)

■対象

瑞穂町の在住・在勤・在学の方ならだれでも参加できます！

■定員

15人程度



★申込期限
11月13日(水)
午後5時まで

